

政策調整会議の概要

開催日 令和6年9月5日(木)

◎項目

- 1 「共働き・共育て」の県民運動の推進について
- 2 当初予算に向けた各計画のバージョンアップの進め方等について
- 3 県有施設の更新等（集約化、複合化、長寿命化等）に係る庁内検討について
- 4 南海トラフ地震臨時情報に関する職員研修について
- 5 四国の新幹線早期実現への署名活動について
- 6 第74回高知県芸術祭の開催について・外国人への日本語教育に活用できる日本語eラーニング学習支援ツールについて
- 7 あんばん関連の情報共有について

◎内容

- 1 「共働き・共育て」の県民運動の推進について【総合企画部、子ども・福祉政策部】

○総合企画部副部長

9月2日に県、各市町村、各産業団体で「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言式を行った。

今後、「共働き・共育て」推進の県民運動が早期に広がるよう、各団体の会員が集まる総会等の機会を捉えて、各部長から直接「共働き・共育て」の推進に関する趣旨を説明し、県民運動への参画を要請していただきたい。

この取り組みは全庁を挙げての政策であり、全部局が自分のこととして捉えて推進すること。

総会等での要請方法や相手方の反応、コメント等については、10月末を目途に子ども・福祉政策部で集約する。

直近で総会等がない場合は、団体の役員と話す機会を作っていただく等の対応をお願いするとともに、総会等の挨拶文などにも「共働き・共育て」の推進に関する趣旨を盛り込む等の対応をお願いする。

○副知事

「共育て」についてであるが、男性育休を取れば良いというのではなく、育休を取って実際に育児等に関わることが大事なので周知願いたい。

総会等での要請に関してであるが、これらの機会を女性管理職登用や女性のキャリア支援、チャイルドペナルティの克服等について企業と協議する良い機会としていただきたい。

- 2 当初予算に向けた各計画のバージョンアップの進め方等について

○政策企画課長

現在実施しているサマーレビューは、最重点事業の方向性を知事が確認した上で指示をいただく場として位置付けている。各部局では、知事が出席する各本部会議

での知事指示事項を踏まえたバージョンアップ協議の調整、準備をお願いしたい。

直近では9月10日に長寿県構想推進会議、10月10日に産振本部会議が予定されているので、これら会議で知事へのサマーレビューの宿題返しを含め、各本部会議におけるバージョンアップの方向性の確認をお願いする。

10月21日には「元気な未来創造戦略本部会議」が予定されているが、ここで、各本部会議の議論を集約し、主要な事業の取りまとめ状況について知事に確認していただく。各本部会議で知事から出された宿題についてはこの会議で返していただくが、この会議の関連事業以外の宿題については個別に知事協議を実施していただきたい。

元気な未来創造戦略本部会議で出された知事からの指示や宿題については、12月に予定されている当初予算見積もり概要についての知事レクで返していただき、最後は知事査定で最終確認をしていただく。

また、新たな予算枠である「元気な未来創造枠（仮称）の創設」について、現在、詳細を総合企画部と総務部で協議している。

現時点の想定では、この枠は、「人口減少対策等に資する新規・大幅拡充事業等」を対象としており、今後のサマーレビューや本部会議の議論を踏まえて対象事業を選別し、総合企画部伴走による磨き上げを実施したいと考えている。

○副知事

バージョンアップも大事であるが、現在実施中の事業のPDCAをしっかりと回し、検証した上でバージョンアップの方向性を考えていく必要があるのでお願いする。

3 県有施設の更新等（集約化、複合化、長寿命化等）に係る庁内検討について

○管財課長

建築後一定の年数（約30年）が経過する県有施設（公共用施設、公用施設）の情報を全庁で共有し、集約化、複合化、長寿命化等の視点で検討することを目的として、9月から11月にかけて、検討に向けた照会や協議を各部局に依頼する。

まず、9月上旬に、各部局に対して築30年以上の施設一覧表を共有した上で、一覧表の追加・修正等について照会を実施する。

次に、照会結果を各部局へ共有した上で、施設の更新等（集約化、複合化、長寿命化等）について各部局で方針を検討していただく。

これら検討結果を取りまとめ、11月中を目途に政策調整会議で結果を説明。次年度以降も半期ごと（3月、9月）に検討状況を照会し、共有していく。

施設の更新等については、上記検討を踏まえて要求するよう予算編成方針に記載するとともに、各部局における施設の更新計画を踏まえて優先順位を検討していく。

4 南海トラフ地震臨時情報に関する職員研修について

○危機管理部副部長

本年8月8日に「臨時情報（巨大地震注意）」が発表された際、県庁では災害対策本部を設置して情報の周知や後発地震への備えなどを行った。

一方、「臨時情報（巨大地震警戒）」についてはこれまでに発表されたことはないが、発表時には住民事前避難対象地域に市町村が避難指示を発令するなど、特別の呼びかけが行われる。

県でも各部局の対応が求められ、あらかじめ対応を確認しておく必要があること

から、各部署主管課の危機管理連絡員を対象に、11月6日に職員研修を実施することとなった。

研修には有識者として京都大学防災研究所の矢守克也副所長と九州大学大学院人間環境学研究院の杉山高志准教授に参加いただき、前半は有識者によるガイダンス、後半は「発災直後」「発表直後」「発表1日後」「発表1週間後」での各部署それぞれのToDoを検討してもらい、有識者からアドバイスやコメントをいただくワークショップを実施する。

5 四国の新幹線早期実現への署名活動について

○総合企画部副部長

四国の新幹線早期実現への署名活動については、本年7月以降、各所属へ署名依頼を行っており、これ以降、四国新幹線整備促進期成会による東京大会開催や、高知駅前におけるイベント開催等による機運醸成を図っている。

署名については県庁内でも一定協力をいただいているが、署名募集期間は令和7年7月31日までなので、さらなる協力依頼をお願いしたい。

6 第74回高知県芸術祭の開催について・外国人への日本語教育に活用できる日本語eラーニング学習支援ツールについて

○文化生活部副部長

9月14日から令和6年度第74回高知県芸術祭が開催される。

オープニングイベントとして、9月14日に大橋通り商店街で高知・香南ジュニアオーケストラ合同コンサートを開催、その後、12月15日までの間、県内各所において様々なイベントが開催されるので、部内での周知及び多くの職員の参加、来場をお願いします。

また、令和6年度日本語教育支援事業として、高知県在住の外国人を対象に日本語eラーニング学習支援ツールの申し込みを募集している。

募集は、外国人からの直接申し込みのほか、日本語学習を必要とする外国人を雇用、支援、指導する方（外国人材を雇用している事業者、団体や学校の先生等）を通じて行うこととしており、学習期間は6ヶ月、定員は500人で、費用は無料。

外国人関係団体や企業等に対し、各部署からも周知をお願いします。

7 あんばん関連の情報共有について

○観光振興スポーツ部副部長

連続テレビ小説「あんばん」の放送に向けて、パンフレットやポスター、のぼり旗等のPRグッズを作成しているため、各種イベントでの活用や施設への掲示、設置等の検討をお願いしたい。

また、9月1日の高知ユナイテッドSCの試合には県庁職員を含む多くの観客に来て頂いた。

J3昇格に向けた目標観客数達成のため、残りの試合についても引き続き来場をお願いします。